伯剌西爾時報
社報時剌西爾伯 發行人
電話 七〇六四・七
社長 作清石黑 Director M. Sameshima
年一 六十銭 年半 三十銭 購讀料
廣告料御問合 第六御返信

英國十月まで會談延期を希望

容れられずんば 天津居留民總引揚げか

紐育タイムス倫敦特電

【紐育十八日同盟】東京會談は世界の視聽を集めつゝあるが、十八日の紐育タイムス紙は倫敦特電として、英國は歐洲の危機が增大するに鑑み日英會談を十月まで遷延せしめることを希望してゐる旨、左の如く述べてゐる

歐洲危機逼迫で腰弱くなる

英國はおそらく歐洲の危機に關する見透しが愈よ明瞭となる時まで、即ち尠くとも十月までは日英會談を延期したいと希望してゐる、尤も、日本側が十月までこれが延期を許すかといふことは別の問題である、若し反英運動が著しく惡化すれば、英國は疑ひなく損害を少くするため、天津の英國居留民全部を一時的に引揚げさせる方法を選ぶであらう、要するに英國が歐洲の問題に卷込まれ、著しく脅威を受ける限り、英國は日本と如何なる紛爭をも惹起することをも欲してゐない

一方ヘラルド・トリビユン紙倫敦特電は東京會談に臨む英國政府の弱腰を指摘して左の如く述べてゐる

チエンバレン首相其の他英國側スポークスマンは東亞に於る英國權益が、日本によつて脅威されてゐる事實に直面して、かなり強硬な言葉を使用してゐるが、それにも拘らず、英國政府は依然として極東に於て、強硬態度を執ることを望まない樣だ、如何となれば、英國が、かゝる行動を執ることは、獨伊に對しても、歐洲情勢を激化せしめる新しい機會を與へる惧れが十分なるからだ

東京會談の前途悲觀

天津の英人總退却の形勢

各商社と倫敦間に秘密電報の往復頻繁極む

【東京十九日同盟】天津英租界在住英人達は東京會談に多大の希望を懸いてゐたが、昨今俄然空氣は悲觀的に傾き、多大の動搖が見えはじめた、即ち、東京會談の結果、當地英人商社にも或る程度の復活が見られるであらうとの期待がいかさはしくなつて來たゝめ、英國商社の一部ではその主要事務の大部分を上海或ひは香港に移轉し、北支の事業經營の一時的閉鎖を協議しつゝあり、この一兩日これら各商社及び倫敦間に商用秘密電報の往復が俄に增加し英國側商工會議所を殺氣立たしめてゐる、一方在留英人間では、會談決裂の次に來るものに對し、當然日本側は極端檢索の强化、嚴厳手段のより徹底化に出づるであらうと豫想してゐる

【東京十九日同盟】天津英租界在住英人達は東京會談に多大の希望を懸いてゐたが、昨今俄然空氣は悲觀的に傾き、多大の動搖が見えはじめた、即ち、東京會談の結果、當地英人商社にも或る程度の復活が見られるであらうとの期待がいかさはしくなつて來たゝめ、英國商社の一部ではその主要事務の大部分を上海或ひは香港に移轉し、北支の事業經營の一時的閉鎖を協議しつゝあり、この一兩日これら各商社及び倫敦間に商用秘密電報の往復が俄に增加し英國側商工會議所を殺氣立たしめてゐる、一方在留英人間では、會談決裂の次に來るものに對し、當然日本側は極端檢索の强化、嚴厳手段のより徹底化に出づるであらうと豫想して

【東京十九日同盟】天津英租界在住英人達は東京會談に多大の希望を懸いてゐたが、昨今俄然空氣は悲觀的に傾き、多大の動搖が見えはじめた、即ち、東京會談の結果、當地英人商社にも或る程度の復活が見られるであらうとの期待がいかさはしくなつて來たゝめ、英國商社の一部ではその主要事務の大部分を上海或ひは香港に移轉し、北支の事業經營の一時的閉鎖を協議しつゝあり、この一兩日これら各商社及び倫敦間に商用秘密電報の往復が俄に增加し英國側商工會議所を殺氣立たしめてゐる、一方在留英人間では、會談決裂の次に來るものに對し、當然日本側は極端檢索の强化、嚴厳手段のより徹底化に出づるであらうと豫想して

【北京十九日同盟】北支電發表、清化鎮方面より北進せる我部隊は河南張京の敵陣地を强行攻略し十九日の朝八時敵本據澤州城を占領せり

皇軍 澤州城占領

【東京十九日同盟】有田、クレーギー第二次會談は、十九日午前九時より開かれ、正午過ぎ一旦休憩、午後四時五十分から再開した、午前の會談に於ては、クレーギー氏より戰爭狀態實在の確認をはじめ天津問題の背景をなす一般的我方の要求に對する英國側の見解を述べたが、なほ相當意見の懸隔あり、有田外相は重ねて我が主張を强調した

【東京十九日同盟】有田クレーギー會談は續行されてゐるが、十九日の東京日日は天津問題の解決は英國の對極東認識如何に是正が先決なることを改めて指摘し、日本國民不動の態度を次の如く述べてゐる

第一次會談に於る有田外相の提議がクレーギー大使の一存で決し難き大乘的性質を帶びてゐたためであらうことは云ふまでもなく、同時にこれを拒否するには余りに重大であり、英國として容易に極討せざるを得なかつたものたる事は想像される、英本國がこれに對して如何なる新訓令を發したかは知る由もないが、問題の早期解決を期するならば、天津を取り卷く北支が我軍の占領下にあり、現實に戰爭狀態が存在することを承認しなければなるまい、元來英國が事每に日本國民に出るのは英本國の首腦者や一般民間の日本研究が甚だ杜撰であることに起因する、これを他の反面から云へば、英帝國なるものは、日本國民によつて總ゆる角度から極討され英帝國の實力なるものが仔細に計量されてゐることを知らないで「英國一度起てばなどと云ふ」威嚇が現在の日本に對して相當の作用をなすかに錯覺してゐることが英國近來の極東政策を誤らしめてゐるものである、日本の利益の爲極東平和を顧みず唯不當の權益を擁護しようとする英國の偽りにも巧利的な行動に對し、日本國民は今や如何なる犧牲をも拂つて、之を排擊せねばならぬと云ふ斷乎たる決意を固めるに至つたものである。國民的憤慨は日本を反英雰圍氣に包んで終つたのだ、會談は固より結構であるが茲にも天津問題の一般的背景が嚴として存在してゐる、これを無視して天津問題解決は不可能である、これをあるがまゝに直視する限り英國の極東政策は自發的に變改し得るであらう

天津問題解決の鍵

……英の極東認識正是

……東京日日の調論

【上海十九日同盟】上海爲替市場は、其の後引續き人氣混沌裡に動搖英五ペンス四ノ一、米十弗四ノ一賣と前値と同樣にはじまつたが、間もなく買物が現れて軟化傾向となり、對米十弗四ノ三まで續落した、然し對英丸ペンスでは賣物があり、これ以上は低落せずペンス關門は比較的粘り强く後更に對英五ペンス丁度、對米十弗四ノ三まで續落した、然し對英丸ペンスでは賣物があり、これ以上は低落せずペンス關門は比較的粘り强く維持されてゐる

人氣混沌の上海爲替市場

日英東京會談に際し 英の本性を檢討す (下)

日本の行く道唯一つ

"のスローガンの下に着々その工作を進めてゐた、これを簡單に獨乙の帝國主義的政策として見ることはできない エミール・ライヒはこれを"ドイツの誇大妄想"として手ひどく痛罵したが、伸び行ぐドイツ民族にはこれによつて人口問題や食糧問題を解決するより外に方法がないのだ、これがドイツ民族に與へられた創造進歩の哲學なのである世界民族發展史から見れば、伸び行く民族はどうしても抑へることができない、この天理に反して抑へつけようとすると、即ち日本の行ひつゝある新東亞建設に對しては一指も染めさせぬぞ、若し之に妨害を加へ牽制するものがあれば最後の斷であると云ふ肚を認めさせればよい

それは高邁なる哲學を基礎とする度胸と識見を要する、今の日本はそうした大政治家の出現を希求して已まないのである

蒙疆電業會社 千八百萬圓に增資

【張家口十八日同盟】蒙疆電業では、十七日臨時株主總會を開催、同社資本金六百万圓を一擧三倍增資し、一千八百万円とする件を可決した、增資割當左の通り

もう强側三百治政府各百二市場は、其の後引續き人氣混

蒙疆電業會社 千八百萬圓に增資

【張家口十八日同盟】蒙疆電業では、十七日臨時株主總會

日英第二次會談開く

相當意見の懸隔あり

次回は來る二十一日開會

【東京十九日同盟】有田、クレーギー第二次會談は、十九日午前九時より開かれ、正午過ぎ一旦休憩、午後四時五十分から再開した、午前の會談に於ては、クレーギー氏より戰爭狀態實在の確認をはじめ天津問題の背景をなす一般的我方の要求に對する英國側の見解を述べたが、なほ相當意見の懸隔あり、有田外相は重ねて我が主張を强調した

【東京十九日同盟】有田クレーギー會談午後の經過につき外務省情報部では午後七時十分左の如く發表した

有田外務大臣及びクレーギー大使は本日午後四時五十分より外相官邸に於て、天津問題の背景をなす一般問題を檢討したが、更に考慮を重ねるために次回會談は二十一日（金曜日）に開催することゝし六時十分散會した

【東京十九日同盟】有田クレーギー第二次會談は午後零時十五分一旦終りクレーギー大使は大使館に引揚げたが、午後四時より續行することになつた

蔣介石我眉山に滯在

相當長期に亘るものと觀測される

【香港十九日同盟】重慶來電によれば蔣介石は夫人と同伴四川省峨眉山に赴いたが、軍事委員會の若干幹部其の他も同地に移轉した點から見て將の同山滯在は相當長期に亘るものと觀られ目下のところ政治的中心は峨眉山に移つた觀を呈してゐる

火災起した北洋丸 米國船に救助さる

【東京十九日同盟】太平洋上で火災を起した日本郵船北洋丸のSOSと共に直ちに現場に急航、同船乘組員船客の救助に努力した米國船アソシエイテッド號の厚意に對し、遞信省では十九日午後二時半田邊遞相の名を以て、アソ號船長に對して左の如き謝電を發した

日本郵船北洋丸遭難に對して急遽現場に赴き、機宜の處置に依り全員救助せられたるは誠に感謝に堪えず、不取敢こゝに深甚なる謝意を表す

訪獨伊使節 大角大將、井阪氏一行

拾八日東京發壯途に上る

【東京十八日同盟】對獨伊使節團團長大角海軍大將、井阪孝の兩氏は官民多數の盛大な送りを受けて十八日午前九時東京驛發壯途についた、團長は米內海相、有田外相、石渡藏相、結城日銀總裁、平生釟三郎、百武大將、末次將軍等軍關係、財界方面の名士多數それにオットー獨逸大使、アウリッチ伊大使の顔も見えた、兩代表を圍んで盛き握手を交はし、驛頭に力强い日、獨、伊防共風景を描出した、この日、日獨伊親善協會から、ムッソリーニ首相に贈呈する「軍人に賜はりたる勅諭」の伊太利語譯と原本とを大角大將に托し、兩使節は万歲の聲に送られて出發した

和平に轉向せんとした 共產軍司令射殺さる

【南京十八日同盟】中支方面に蠢動してゐた共產系新四軍第四支隊司令、高俊峯は六月廿七日合肥縣青龍廟に於て、新四軍長葉挺のため、軍隊を私有物化せんとしたの理由で射殺されたが、事實は高俊峯が新四軍の亡國戰術に憤慨を持ち、寧ろ和平救國運動に乘出さんとしたのを探知されたのと謂はれる

東洋の盟主 力强き日本の姿

タイ國ペン使節一行の日本印象談

【神戸十八日同盟】銃後日本の躍進ぶりを詳さに視察した暹羅タイ國のペン使節一行は十八日午後二時神戸出帆の明石山丸で離國した、一行は出帆を前に、視察の印象を次の如く語つた

聞くと見るとは大きな違ひであります、東洋の盟主日本の力强い姿には心から吾々は敬服しました、歸國の上は英紙のデマ報道に强憤なる筆鋒を振り、暹羅日本の興亞建設の一助としたいつもりであります

緊急カ相會議

【東京十八日同盟】政府は十八日午前十一時半閣議散會後直ちに緊急五相會議を開催、米內海相、有田外相、石渡藏相、田邊遞相、板垣陸相、平沼首相、出席して外もうソ驅逐艦事件、英艦爆撃事件、英國の對日態度を中心に、午後零時二十分まで東亞協議を行つた

上海爲替 依然動搖

【上海十九日同盟】十八日大波瀾を演じた上海爲替は、今十九日にも落着きに乏しく、對英五片四ノ一、對米十弗四ノ一賣りで、先物は氣配だけで八月物は英四片八ノ七、對米九弗半稱へである、円ノートは九十九円四ノ三賣り、百円四ノ一賣

國際貿易戰に對處 貿易省新設計畫進む

青木企畫院總裁極力之を要望

【東京十九日同盟】企畫院では、國際經濟戰に對處して貿易計畫の强力な遂行を期するため、貿易省新設について諸般の準備を進めてゐたが、この經緯案を得たので、青木總裁は近く貿易問題に關する閣議懇談會に出席、極力貿易省新設を要望するものと觀られる、而して貿易省の機構は對外貿易に關する外務省通商局、商工省貿易局、大藏省中關稅稅關及び、爲替管理に關する事務遞信省電信局及び拓務省中滿支以外の方面に對する海外拓殖事務を貿易省に統一する他、時局に伴ふ對外貿易政策刷新を計るため一般的企畫及び情報の蒐集策定に關する事務を統轄するため、貿易大臣管理の下に、貿易企畫情報局を創設せんとするもので、要項左の通り

本省總務局官房に關する事項

遞信省電信局及び拓務省殖産局、貿易局の事務

貿易局第二部の所管事務（爲替局、外國爲替に關する事項、管船局、船舶に關する事項、企業局、海外拓殖に關する事項、貿易企畫情報局）

第一部（企畫及び政策）

第二部（貿易情報の蒐集及び供給）

日獨海軍親善使節 エリヒ・ツイゲル提督來朝

【東京十九日同盟】ドイツから日獨海軍親善の使命を帶びて派遣された同國海軍軍令部員エリヒ・ツイゲル提督は十九日午後五時橫濱へ入港のドイツ船グナイテナウ號で來朝、獨大使館員の出迎へを受けて上京大使館に入つた

時雨八荒

（百三十八）

道中變化（十四）

「應ア見ろいー」

片目を細めて、小氣味よげに含み笑ひを洩らし乍ら、鮫造は飛ぶやうに道を急いでゐた。

「典善の奴、今頃彌勝美ゝ何處かで落合つて、腑下つてやがるはいゝが、開けて悔しや玉手箱さ、いゝ氣味ぢやねえか、やつぱり役者は、おいらが一枚上だぜ」

小氣味よくて堪らないのだ、腹が昂い。

「典善の奴、どうも臭せえと睨んでゐたら、案の定、ゆうべおいらが騙された振りしてゐると、のこ〳〵と抜け出して、阿女を助けに行きやがつたんだから、彼奴も生臭坊主さ。尤も、虚無僧になる奴に、碌な奴はねえが、あいつは格別極道者だが、惜いことにちよいとはかし、血のめぐりが惡いんだ。應ア見ろい、應ア見ろい！……これで、江戸へけへりや、お紅龍さまからはたんまり褒美が貰へるし、おせんの顔も拜めると云ふもの……」

愉快なのだ。

鮫造は、思ひ出しては含み笑ひを洩らしながら、急ぐのだ。

深谷宿の屋根や白壁が、遙に見え出した頃

「もし」

と、後から呼びとめる聲。

立ちどまつて、振向いてみると、鮫造と同じやうな、笠と合羽の道中姿、扇を切らして駈て來た男。

何處かで見たやうな、そして一癖ありげな顔だつた。

追つ付いて

「親分」

と、云つた。

「誰だつたかな」

親分と云はれて、鮫造、くすぐつたさを感へながら、相手の顔を思ひ出さうとした。

「お判りになりませんか」

男は、ニヤリ、白い齒をのぞかせて、腰を低くした。

「きのふは、かんな川の橋で、まことにはや、ご無禮でムんした。掏摸の文吉でムんす」

「あ、さうだつたか」

鮫造は、漸く思ひ出した。

「どうか、御勘弁なすつておくんなせえまし。この通りの騙出し者で、仕事らしい仕事もできねえ野郎でムんす」

「さうでもねえ。きのふあたりの仕事ッぷりは、一人めへちやねえか、俺なんて、とてもあの騙には出來ねえ」

「お褒めに預かつて、恐れ入りやす」

「旅裝束で、何處へ行なさるつもりだね」

「實は江戸へ參らうと存じやしてね、先刻、親分の後姿を見受けましたんで、きのふのお詫を申し上げたり、色々と又お話を伺ひたう存じやしてねえ」

「結構でムんす。是非とも、お供がしたうムんす」

「若い衆さん、文吉さんと云つたかね」

「へい」

「お前さんの腕にや驚いたが折角掏つたものでも、字が讀めなくちや、なんにもならねえなア」

「全くでムんす。お恥かしいことに、明盲なんでネ親分」

「おれは、親分なぞと呼ばれる程、身分のある男ぢやねえよ」

「お隱しなすつても駄目でさア」

「人間違ひして貰つちや、困るぜ」

「いゝえね。從兄の方ぢや相當の親分だと睨み申しやしたが、違ひやしたか」

一事一言

◇翔來する『日本』機

去る三日、大毎・東日社が世界に張れる宣傳機關を通じ一齊に、世界一周飛行の企てを發表するや、是れが世界未曾有の大壯擧であるだけに、世界各國は「日本にシテ遺られた」と悔しがつたも無理ない事ではあるが、此の國際的大快擧に對しては我國官民もそれ丈け熱狂的となり、何うあつても成功の實を結ばせねばならぬとして大聲援を與へつつあるが裡にも外務省は特に力を入れ、在外公館へ打電して之れが成功に萬全を期すべく努力しつつあるは、在伯の吾々に取つても嬉さかぎりなしである。

聞く處に依れば、在リオの帝國大使館では伯國政府に對し該飛行通過許可の交渉を開始し、サンパウロでは大毎・東日の特派員たる黒石氏が昨日わざ總領事館へ出頭して坂根總領事に面會し、世界一周飛行機「日本」號のサンパウロ飛來の際の歡迎に關し懇談する處があり、大毎・東日社からは最近特派員宛て「世界一周飛行機リオ・デ・ジャネイロへ着く時、必要とする部分品を、七月十一日橫濱發、八月十九日リオ着豫定の大阪商船アルゼンチナ丸で送つたから、前記荷物はリオで陸揚の上飛行場に留め置き、大毎機が着いたら直ぐ受取れるやう手配()整む」との電報があつた等等にて、着々準備が進められてゐる。

斯の如き次第にて、世界一周機「日本」の日本發航日は通過諸國の許可揃ひ次第發表の順序となるであらうし、それが定まればサンパウロ市にリオ・デ・ジャネイロ寄航は八月末か九月初め頃ならんが、此の世界的大壯擧に對しては歡迎及び其他に萬遺漏なきを期したいと思ふのである。

無論右に關しては大使館に總領事館邊が全力を擧げて便宜を計られる事ではあるが、在留民たる吾々も亦最善の方法を講じて出來る丈け盛大に且つ有意義に歡迎し以て此の國際的壯圖を成功に導くと同時に、本邦の使命を遂じて日伯の關係を層一層親密たらしむべく形を現はしたいと强く已まぬものである。

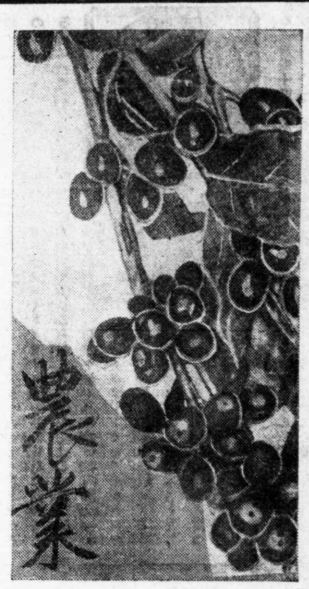
中國交通兩行北方券の受入禁止
法幣不安で遂に取附騒ぎ
上海に流入の北方券五千万元に達し
國府側窮狀打開と面目保持に躍起

【上海十九日同盟】上海の支那側銀行は十七日から一齊に北方券の受入れ及びその上海流通券との交換を停止したが最近北支から上海に流入せる北方券は極めて巨額に達し支那人方面に傳へられるところによれば、五千萬元に達する有樣で、第二次モラトリアム後の金融逼迫の際とて市中に夥しく流通してゐたためその受入れ停止が一般に與へる影響は極めて大きいのみならず上海に流入せる北方券は大部分中國交通兩銀行のものであり、これら兩銀行が自國發行の紙幣取扱ひを停止することは法幣價値に對する不安に最も拍車をかけることになるので中國交通兩銀行の上海支店では、十八日より小額に限り北方券の受入れ及交換を行ふことゝした、其結果は折柄の昏相場暴落を入れて、不安人氣の增大する際とて支那人の北方券交換を求める者が一時に殺到して恰も取り附けの如き騒ぎを演じ、法幣不安の一背

昭和十四年七月二十日　聖市版　聖市サンパウロ市　電話二七九四　聖市サンパウロ市　聖市サンパウロ市　聖市サンパウロ市

駄鶏淘汰の智識 (1)

養雞經濟の根本問題 早産鶏を選ぶべし



總ての生産事業に於て生産能力、換言すれば利益の增加は生産費の低減を計る事が最も重要なる要素である

養鶏の場合に於ても可及的産卵能力の增加を計り、合理的肥料配合をなし失費の節約を計ることが肝要である

産卵率の增加を計る一手段として先づ駄鶏（産卵少きを指す）を淘汰し、産卵の優秀なるもののみを殘し、能力の向上を計ることは必須の條件である、此の駄鶏淘汰にも種々方法はあるが此處には主として鶏の外觀、性質等を達觀し駄鶏と、優秀鶏の識別に就き記載することゝする、

産卵能力と一卵生産指數表

	一年産卵	一個當り生産指數
	個	料
八〇	三六、四キロ	二、八
一二〇	四〇、四キロ	一、八
一六〇	四二、六〇〃	一、六
二〇〇	四六、八〇〃	一、四
二二〇	五一、二〇〃	一、三

産卵能力と卵一個の生産費を示して見よう

多産鶏程一卵當りの生産費安く非常に經濟となり年に莫積ればその利益は莫大となる、

淘汰は次による

一、若鶏の淘汰

産卵と發育が密接なる關係を有することは論を俟たない、育雛技術に最善を盡し、立派な雄鶏を作り上げることは産卵能力向上を計るに緊要な條件である

良雄雞とは體型に於て雄長く且骨格はガッシリとし活力旺盛なるものでなければならぬ

紫陽花とマレツタ。
◇花を樂み藥を採る

「あぢさゐ」の花は淫欲者の代表とされ洋の東西をとはず甚だ評判香しからず、若い男女に敬遠され乍ら、庭木としては伯國でも愛好されてゐます

伯國名ホルテンシス、日本の窓色一色が、伯國では赤、紫青、濃藍と樣々あり、又木丈もコヂンマリと、花壇の緣とりに良いもの等、品種は潤だ豐富で、栽培は木物だけに至極簡單、去年枝を挿木すると良く活着します

鉢植物に恐い伯國では、此の木等良い素しい材料となります

次に大方の日本人は御存知が無いが、此の木の葉がマレイタの妙藥です、先づ充實した葉を陰干にして貯えて置き發熱豫定日の朝日、此れを粉にして四グラム（大匙一杯）を服用、服藥き發熱日の朝早く今一度、同量服用します、葉十グラムを藥にし飲用するも宜敷い、飼花も同樣有効ですが藥の方が遙かに良く効があります

蟲傷にお霜遲樣に甘茶を掛ける風習は、マレイタ退治の示威運動、あま茶とあぢさゐは近似植物です、あま茶があれば此の方が更に有効です

北支棉增産に農産物への壓擦
農經時報
食糧農産物への壓迫

北支の自給力は農業に對してひどく無慈悲である、五風十雨とは詩人が天帝へ奉る哀訴であり農民の合言である、農民達は自分の想慾だけで、この冷酷な自然力を克服すべく四千年來の忍從的諦觀を持つたがゆゑに、かれ等の經驗的農業技術は、むしろ日本より優れてゐる點が多いといはれる、例へばいはゆる十年九旱の苦惱はかれ等に乾燥農業させた、しかし大体の見當は明治卅二、三年頃の日本農業事情に低回してみると斷じてよい、卅二、三年頃といへば日清戰爭の後をうけての農村間題が、政治的に取上げられて產業組合の設立、肥料取締令の成立、農事試驗場の機構の大擴張など、わが農業政策の骨組みが鳴物入りで組み立てられた年代である

北支農業政策の指標は、いかに定むべきか？例えばもまづ東亞新秩序の設計が北支の農業に對して一体、何と何をどの程度に要求し期待するかが明確にされねば話にならんではないか、新秩序建設の盟主が日本であつて見れば日本の意企が、理念としての新秩序と具體的それとの間に大驛率直な一線を引き、この線に沿うての日本の資本と技術と指導と組織の配列、誘導であるべきであらう

穀花の增産は必然に食糧農産物の生産を壓迫する、この計畫下にあつても穀花假付付反を現在の百卅万町より百八十万町歩と五十万町の假付面積の擴張が含まれてゐる、これは食糧生産耕地への割込みを意味する、といふのは北支で荒地（アルカリ性土壤、摂水不良）の改良による未耕地の擴張が七十万町程度見込まれてゐるが、この見込みは調査室の可能であつて現實的には手のとどかぬ勿體ない野原にすぎない、北支を飛行機で空の經濟視察した牛生飲一郎氏が「これは〜と驚いたやうに河北、山東は勿論、山西の山奥でも岩山でない限り山の頂上まで一握りの耕地が拓かれてゐるのを見ると憫然となる、拓けども〜北支の食糧はひどい缺乏だ、粟、高粱、燕麥などの大量が滿洲や蒙疆から流れ込んでくる、だから滿洲の糧機（食糧問屋）北支の食糧配給網を支配してゐる力は大きい

（そこで）問題はかうなる東亞新秩序の具體的方向に從つて日本が欲する程度の棉花を增產せんとすれば〜大不足の北支の食糧農產物の生產物を犧牲に壓迫する、生產を壓迫して餓死たる新秩序を野放しにすることは爆彈を抱いて假睡するに等しい、この二つの調整をどうもつて行くか

農家便覽

◇

おうむ類の羽根は充分消毒後使用すべし、死亡率二十%と言ふ恐ろしい病氣を傳染することがある

◇

今年も東北諸州は無慈悲な旱魃にさいなまれてゐる、聯邦政府も毎年々々補助金を出さない、住民の爲も考慮に入れ大量にブヤス方面へ移民させる計畫を樹てた

◇

アラゴアス州は聖州產ピラチニンガに品種を統一

◇

フランス農學者が聖州棉作地をつぶさに視察し、腐い棉作適地をもつ佛國が二十八万噸の棉を買ふのは愚の骨頂だ國へ歸つたら自國領でも棉を作る工夫をする、聖州の眞似をするんだと

◇

セッカと共に傳例の肉蠶動開始

昭和の軍神

菊池寛作
伊原宇三郎畫

西住戰車長傳 (51)

（業無斷 上演上映）

生立と家庭（十八）

陸軍士官學校の像科に入學したのは、昭和五年四月で、十七歳の時であつた。一月生れであるから、級中でも一番年若であつた。

保証人は、父三作氏が組過を復てゐる荒木大將であつた荒木大將の書いた「巳為奉公」の大額が、西住家の座敷に今もかかつてゐる位だから、父三作氏は風に荒木大將を尊敬してゐたのであらう。

學校の成績は、像科時代は三百人中三分の二位の下位であつたが、卒業の時は、三分の一位に進出してゐた。

西住憲君は、士官學校時代の西住大尉に就いて次ぎのやうに、書いてゐる。

此處に於ても、彼は徹底的「疑問張リズム」を發揮せり。殊に武術に於ては中學時代剣術の經驗者ゝ如く無駄に抑らず、經驗者ゝ如く間に乘り越えて、全中隊に於て、天晴の腕前となれり。當時最も苦しかりしは富士裾野における籠坂峠の追撃戰、蹴演習なりき。將に心臓も破裂せんかと思はれし程なりき。火山灰の砂ょり成る數里の坂道を、歩行にて行軍し、全員疲に疲勞の色を表はせり。かかる時にも、彼は常に中隊の先頭に立つて進み、中隊全員に對して、無言の鞭撻を與へたり。この時の彼の姿は、大地に根を下して揺がぬ大木の姿なり、一種神々しさを感じたり。學校内に於ける生活に於ても、剛毅木訥遵軌を破らず、只管に自己の所信に向つて邁進せり。剛直正義の代表的人物なり。他人にして、苟くも不正あらば、正面より刀直入之を斥けたり、子も度々、彼の正面思告を受けたり。

同じクラスの九州出身の侯補生達は、素朴剛健であるとともに、どこか間の抜けた、鷹揚なところがあつた。

「あの窓から出るのさ、高いから籠司と椅子を車ねたらとやくよ、普をたてぬ樣に手傳つてくれ給へ」

二人は準備をし漸く窓にとゞいたのでアンリーはボールを助けて上りました。

第二世、第三世を名乘つて、全部で五人のグループであつた。ポヤジーの意義は、ポンヤリしてゐて、爺むさいと云ふ事らしい。

これは、勿論自嘲的に付けたので、彼等の戯名迎は外にあつたのであらう。

本科を卒業するわづか三ケ月目の昭和九年三月下旬に、父三作氏が五十七歳で亡くなつた。

當時、那須野原に演習野營中であつた大尉の所へ、用佐の司令官部からの電報が届いた西住大尉は、演習を中止して歸るのは、知つて父の意志に反するからと云つて、歸郷を肯じなかつたが、中隊長、區隊長の切なる勧告に依つて歸郷した。

大尉が郷里へ出立したのと入れ違ひに、母堂から電報が届いた。

それは、

「チチシス・イヴンニヨリ、カヘルニオヨバズ、センシンゴホウコウセヨ、ハハ」

と云ふ電文であつた。

西住大尉は、昭和九年六月陸軍士官學校を出ると、宇都宮第五十九聯隊附を命ぜられ十月に陸軍少尉に任官してゐる。その當時父三作氏の墓前を胸のあたりに捧げて寫眞を撮つてゐる。

十二月に、宇都宮聯隊から聯隊の第卅四聯隊に編入され滿洲に出征した。

一年近く、ハルビンその他に、駐屯してゐる間、屢々匪賊の討伐に從事し、實彈の雨をくぐつた。これが西住大尉として、初陣である。

そして、翌昭和十年十二月宇都宮の聯隊に歸還してゐる滿洲駐屯中、戰車がいかに、戰鬪に驚異して、勝敗の機を動かすかを感じたと見え、戰車將校たる希望を懷いて歸つたらしい。

翌月から、雑誌野戰砲第二聯隊練習部に入り、戰車操縦を學んだ。

六ケ月の後、豪を卒へて、原隊に復歸し、昭和十一年八月、久留米戰車第一聯隊附となり、翌十二年八月上海へ出征した。以上が、車輌部までの西住大尉の略歴である。

Adubos Facchina

ファキーナ肥料
萬作向き簡單な施肥用完全肥料
説明書御申入大歡迎

事務所

サンカーロス
R. BENTO CARLOS, sob.
Caixa Postal, 41 - Tel., 4
S. CARLOS

サンパウロ市
RUA S. BENTO, 329, 1.º
Caixa, 1965 - Tel., 3-4080
S. PAULO

カーザ東山
CASA TOZAN, LIMITADA

Matriz ... Praça Mauá, 25, C. P. 911 ..... SANTOS
サンパウロ支店
Rua Florencio de Abreu, 74/76, C. P. 528 ..... SÃO PAULO
聖市取次所
Rua Conde do Pinhal, 120 ..... SÃO PAULO
リンス支店
Av. Voluntario Rosarino Silva, 147, C. P. 11 ..... LINS
マリヽア支店
Rua 9 de Julho, 1277, C. P. 74 ..... MARILIA
プロミヅソン支店
Rua Julio Prestes, 1057, C. P. 16 ..... PROMISSÃO
リオ駐在員
Av. Rio Branco, 69/77, C. P. 3342 ..... RIO DE JANEIRO

東山銀行
CASA BANCARIA TOZAN, LIMITADA
Matriz: Santos, Filiaes São Paulo, Lins e Marilia

ELEKEIROZ S/A
Rua S. Bento, 503 Caixa Postal 255 Tel. 2-4114 S. Paulo

農家諸氏よ！
病虫の被害を合理的に驅除してこそ農家は利益を得られる
農家に一番大敵である恐るべき「サウーバ蟻」は
ホルミシーダ
（サウーバに死刑の宣告を與ふ）
「ジユピテル」の
御使用にて全滅す
藥劑は純良一効果百%
絶體に經濟的なり
エレケイロース
製藥肥料株式會社
聖市サンベント街五〇三
郵函二五五

大塲鎭の勝

支那事變 少年軍談 一番乘り武勇傳 (九十四)

突破部隊の山來

（前）回申・上げました通り、大塲鎭は上海戰線に於ける支那軍の心臓部でこゝが陷ちると同時にさしも頑強な支那軍も大河を決するように崩壞してしまひました

この大塲鎭の一番乘りをしたのは石井部隊の麾下大島部隊の勇士細江正三伍長でその勲功はまことに拔群と申さねばなりません。しかしこのことも前回あらまし申上げたように大塲鎭攻撃までの苦勞が大變なものでこの石井部隊がこの苦勞に堪へ豪勇を發揮してきたればこそこの榮ある一番乘りの武功を現すことが出來たのであります。いや石井部隊ばかりではありません。細江伍長の武勲を偲ぶについても思ひ起すのは

（友）軍各部隊並に戰友の鬼神も泣かせる勇戰ぶりで不幸今日の勝利を見ずして戰場の露と消えた數多の護國英靈に對して感謝を捧げると共に、壯烈に大和魂を發揮した諸勇士に對し讃嘆の言葉を捧げたいと思ひます

又一番乘りの武勲を現したのも石井部隊のみでは有ません細江伍長ばかりでも有ません

壁に一城夕に一壘を陷し入れるごとに其處に壯烈極まる一番乘りの勇士が現れ戰史に其の名を連ねたのであります。

さて敵前上陸以來各部隊の主なる動きを申しあげますと、八月二十八日和知、永津部隊は羅店鎭を占據し淺間部隊は九月十日月浦鎭を占領しました。又敵前上陸の殊勲部隊鷹森部隊は八月三十一日奥派鎭を占領し淺間部隊と協力して寶山塲城をおとしいれました

かうして揚子江岸から黄浦江岸にかけ十分に足がかりが出來た。これからはいよ〜進撃だ。

（そ）こに新しく現はれた殊勲が我が石井部隊と川東部隊であつて、鷹森、川東、石井部隊は最初から大塲鎭に向ひ、眞正面から進撃を開始した中堅部隊だつたのです。無論後では加納部隊が加はりましたが……。といふわけで石井部隊は一番むづかしい所に向ふ事になつて苦勞をとりわけ多く、犧牲者も相當出ましたがその代はり武勲の數も多く市政府を占領したのも石井部隊、顧家宅を奪つたのも同部隊であります九月十六日劉家行前面の戰ひで石井部隊長は左腕に敵彈を受けられたが

迷ひの森 (七)

◇寢 間に入つてからボールはこんなことばかり考へて眠れませんでした。一方アンリーは

「何だつてつまらない話。僕がコンラッドの樣におとなしい人間になると思つてゐるんだろう？召使なんかになつて何時までも働くやつがあるものかい。あの親爺が二言目に棒をふりまわすから厭つて仕事をやつてゐるんだが、今に見ゐ隙さへあればにげ出してやるんだ」

とボールの耳のそばでさゝやきました。

「そんなことをして又捉まつたら本當に殺されちやふぜ」

ボールはこう云つたものゝにげられゝばにげようと思つてゐました。二人は親爺さんに

◇連 れられて時々村へ炭買りに出て行きました。

「おい愛さん、僕が留守の間よく子供の番をしてゐなきゃ駄目だぜ。家から出ないやうに、云ふ事を聞かなけりやぐわんと一つ見舞つてやるんだ」

と親爺さんは又棒をふりまわして見せました。親爺さんは何時も棒をふりまわしますが

◇ま だ一度も二人に打つてかゝつたことは無かつたのでしゃ何だか心の中から恐つてゐるらしくないのです。

やがて親爺さんは出て行きました。二人は部屋に押込められてゐたが夜一人となると愛さんも眠りあたりも靜かになりました。

「ボール君、美しい月夜だ、だしぬけにアンリーが云ひました。

「月夜がどうしたい？」

「君はのんきだね、あの恐ろしい親爺さんが居ないから今晩は逃げ出すんだよ」

「こんなおそくなつてから逃げると道に迷つて今度はどんなになるかわからないよ」

「大丈夫、此の間村へ行つた時目じるしの木を覺へていたから……」

「何だか心配だなあ、愛さんの部屋を通らなければならないよ」

「あの窓から出るのさ、高いから籠司と椅子を車ねたらとやくよ、普をたてぬ樣に手傳つてくれ給へ」

二人は準備をし漸く窓にとゞいたのでアンリーはボールを

「なんの腕一本位！まだ右腕もある兩足もあるぞ」

と喝んで部下のとめるのもきかず先頭に飛び出し奮戰又奮戰

戰彈固なる敵陣地を次々と占據したのは有名な話。それ以來石井部隊には「突破部隊」と云ふ名がつけられました。

（さて）有名なデニシュー氏の息子や愛であるとは思ひませんでした。お父さんやお母さんに自分達のことを誰かに知らせて貰つたらどうだろう？と思つたこともありましたが、こんな奏では誰も信じてくれないと思つてそのままにしてゐました。何より逃げ出すことを何時もアンリーは考へてゐました。或日のことラチュイニ親爺さんが莫を馬車に積んで一晩泊りで遠い所へ持つて行くことになりました。

「おい愛さん、僕が留守の間よく子供の番をしてゐなきゃ駄目だぜ。家から出ないやうに、云ふ事を聞かなけりやぐわんと一つ見舞つてやるんだ」

と親爺さんは又棒をふりまわして見せました。親爺さんは何時も棒をふりまわしますが

◇ま だ一度も二人に打つてかゝつたことは無かつたのでしゃ何だか心の中から恐つてゐるらしくないのです。

やがて親爺さんは出て行きました。二人は部屋に押込められてゐたが夜一人となると愛さんも眠りあたりも靜かになりました。

「ボール君、美しい月夜だ、だしぬけにアンリーが云ひました。

「月夜がどうしたい？」

「君はのんきだね、あの恐ろしい親爺さんが居ないから今晩は逃げ出すんだよ」

「こんなおそくなつてから逃げると道に迷つて今度はどんなになるかわからないよ」

「大丈夫、此の間村へ行つた時目じるしの木を覺へていたから……」

「何だか心配だなあ、愛さんの部屋を通らなければならないよ」

「あの窓から出るのさ、高いから籠司と椅子を車ねたらとやくよ、普をたてぬ樣に手傳つてくれ給へ」

二人は準備をし漸く窓にとゞいたのでアンリーはボールを